

関東甲信越地区教頭研究大会参加報告

11月9日(木)10日(金)の2日間にわたり、地元山梨県アイメッセ山梨を会場として、1300人を超える参加者により、本大会の研究主題「生きる力をはぐくむ 豊かな学校をめざして」のもと「豊かな心を持ち たくましく明日を拓く児童生徒の育成」をサブテーマに、第47回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会山梨大会及び第40回山梨県公立小中学校教頭会研究大会が開催されました。

分科会では、本研究大会としては初めての試みである多くの実践例を交換しあい討論を深めるために、「参加型」のグループ討議を主体とした分科会が取り入れられ、実践と理論の両面にわたって熱心な研究協議が行われました。

東山梨からは、2A分科会「子どもの発達に関する課題」(小学校)において、提言者として山梨市立牧丘第三小学校の今澤寛万呂教頭先生より、研究主題「児童・生徒の道徳的実践力育成をめざす教育のあり方と教頭のかかわり」として発表がされ、グループ討議では「家庭・地域・関係諸機関との連携などをどのようにつくっていくか」を討議の柱に①「小・中学校の連携について」②「家庭との連携について」③「地域・関係諸機関との連携について」④「道徳授業や道徳的体験活動について」活発な話し合いが行われました。

今大会には実行委員として参加させていただき、開会行事や閉会行事等、アトラクションでは、県外の先生方からも好評を得た、部活動の一つとして全校で取り組んでいる西浜中学校による「西浜中の双龍太鼓」、そして県教育委員会義務教育課課長の杉原 廣先生による指導講評を頂き、記念講演は「石橋湛山七歳のおしえ」と題して作家の江宮隆之氏による講演が行われました。そしてメインである研究会では「参加型」のグループ討議による分科会。課題もあったかと思いますが県教頭会の先生方の協力により滞りなく終了することができました。貴重な体験をさせていただいたことに感謝し報告とさせていただきます。

(学校運営研究部会 長谷川 清)